

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド

毎月分配型

(米ドルコース)(円ヘッジコース)
(ブラジルリアルコース)(トルコリラコース)

追加型投信／海外／債券



**Nikko PIMCO High Income
Sovereign Fund**

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

amova
アモーヴァ・アセットマネジメント

アセットマネジメント(am)を
ムーヴ(move)する

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は



三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの特長

特長
1

**米ドル建ての新興国ソブリン債を中心に、幅広く分散投資を行ないます。
なお、組入債券は、米ドル以外の通貨建て債券を含む場合があります。**

※当ファンドは、PIMCOが運用するバミューダ籍外国投資信託と、日興アセットマネジメントが運用する証券投資信託「マネー・オープン・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。

特長
2

4つの通貨コース*＜毎月分配型（米ドルコース、円ヘッジコース、ブラジルリアルコース、トルコリラコース）＞があり、各コース間でスイッチングが可能です。

※原則として毎月（原則15日）決算を行ないます。

特長
3

ピムコジャパンリミテッドに運用を委託します。

ピムコジャパンリミテッドは、米国債券運用最大手の一社であるPIMCO（パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）の日本の拠点です。

*4つの通貨コース

当ファンドが投資を行なう外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国ソブリン債に投資を行ないます。円ヘッジコースでは、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行ないます。ブラジルリアルコース、トルコリラコースでは、米ドル売り／各新興国通貨買いの為替取引を行ないます。

※為替ヘッジは、為替変動の影響を完全に排除できるわけではありません。

※為替取引を完全に行なうことができるとは限りませんので、各コースの通貨と完全に連動するわけではありません。

（用語説明）ここでいう為替取引とは、「原資産通貨を売り、別の通貨を買う取引」をいいます。また、為替取引のうち、「原資産通貨を売り、円を買う取引」を為替ヘッジといいます。

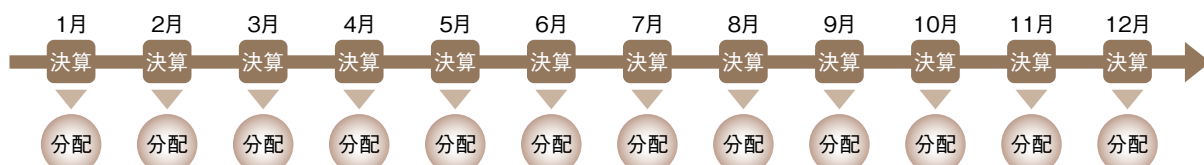
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

分配方針について

毎月分配型

●組入債券の利息などの収益を原資とします。

◇毎月15日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。



※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

PIMCOについて

PIMCOの債券運用の特徴

- PIMCOは、世界最大級の金融グループであるアリアンツ・グループの一員で、米国カリフォルニア州に本拠を置く世界有数の資産運用会社です。特に、債券アクティブ運用に高い専門性と歴史を持ち、債券運用では世界最大級の規模を誇っています。最先端の運用技術を駆使し、付加価値の源泉の多様化による安定した超過収益の獲得と厳格なリスク管理を図っています。
 - マクロ経済分析、債券市場分析、モーゲージ債や社債、バンクローンをはじめとした様々なセクターの信用力分析など、債券運用に必要なあらゆる分野において高い能力をもち、多様な債券運用戦略をグローバルに遂行できる運用チームを有しています。
 - 2024年末現在のPIMCOグループの運用資産残高*は、約1.95兆米ドル（約306兆円、1米ドル＝157.16円で換算）を誇ります。
- *アリアンツ・グループ関係会社からの受託残高を含みます。

PIMCOの運用に対する外部からの評価例

- 年間最優秀債券マネージャー賞：米国モーニングスター社（2012年、2013年、2015年）
 - 最優秀債券マネージャー賞（ハイールド債券部門）：グローバル・インベスター誌（2001年、2004年）
- ※上記評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- 新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- 新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

◆毎月分配型(米ドルコース)

- 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が米ドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

◆毎月分配型(円ヘッジコース)

- 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行なうことで組入資産に対する為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、円の金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと円の金利差相当分のヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

◆毎月分配型(ブラジルリアルコース)

- 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆毎月分配型(トルコリラコース)

- 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行なうため、トルコリラの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がトルコリラに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはトルコリラと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、トルコリラの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとトルコリラの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリーリスク

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

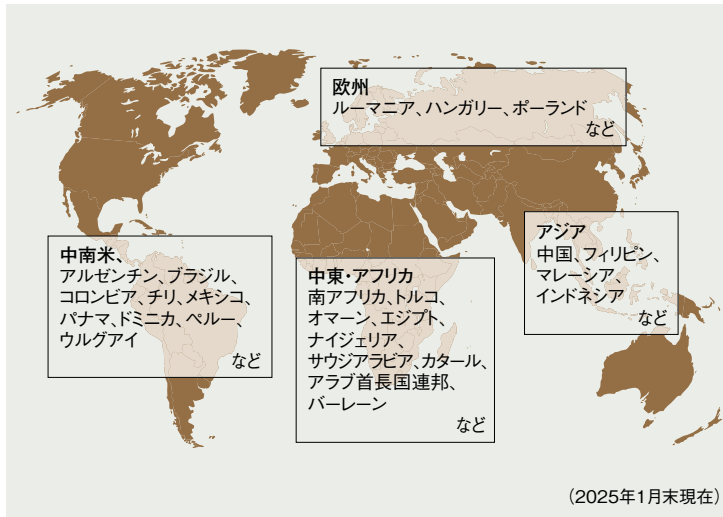
その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)(円ヘッジコース)(ブラジルリアルコース)(トルコリラコース)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

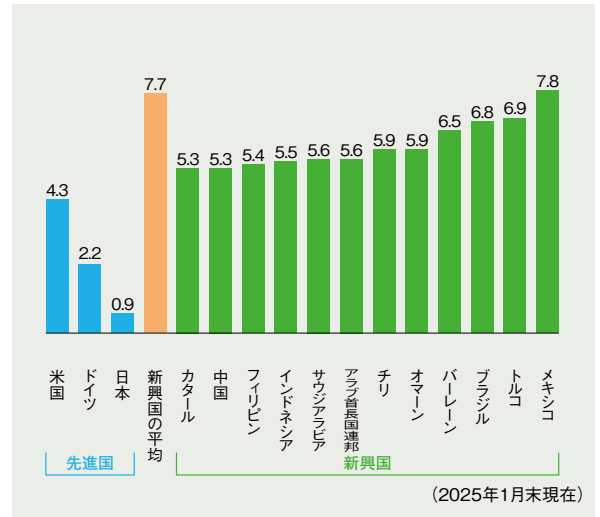
主要投資対象国

- 当ファンドは、主に米ドル建ての新興国のソブリン債に投資を行います。
- 当ファンドは、「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド」を参考指数としています。

投資対象となる主な新興国



主要国の国債利回り(%)



※各国国債利回りは、米国、ドイツ、日本は残存5年の国債利回り、新興国はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイドにおける各国の国債利回りです。「新興国の平均」は、同指数の最終利回りです。

※利回りは切り捨てにて端数処理しています。

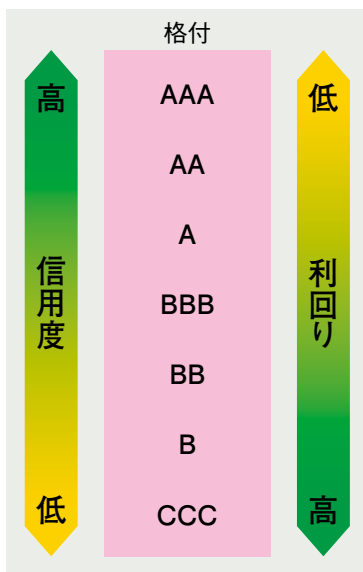
※上記の国と実際の投資対象国は異なる場合があります。

※上記データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

<ご参考>ファンダメンタルズと信用力

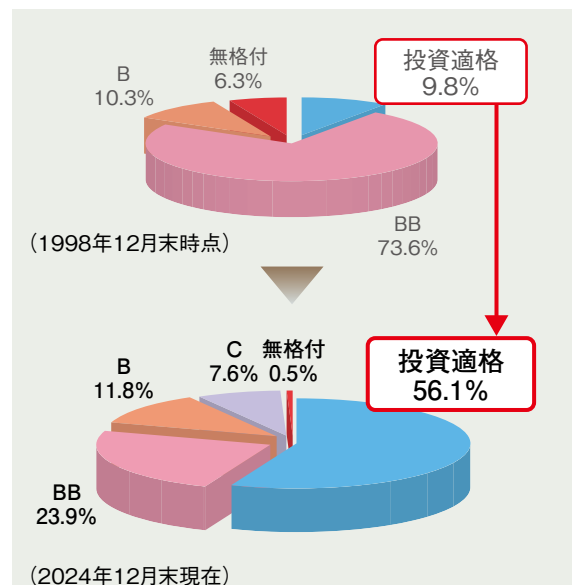
債券の信用格付と利回り



主要国の格付

(2025年1月末現在)	格付
先進国	
ドイツ	AAA
米国	AA+
日本	A+
新興国	
新興国の平均	BBB-
カタール	AA
中国	A+
チリ	A+
サウジアラビア	A
ポーランド	A
メキシコ	BBB+
フィリピン	BBB+
インドネシア	BBB
オマーン	BBB-
ブラジル	BB
トルコ	BB-

新興国ソブリン債市場の格付別内訳



※各国の格付はスタンダード&プアーズ社が自国通貨建て長期債に付与しているものです。

※「新興国の平均」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイドの平均格付です。

※上記の国と実際の投資対象国は異なる場合があります。

※投資適格とは、AAA～BBB格相当の格付を付与された債券を指します。

※表示単位未満の数値の四捨五入により、構成比率の合計が100%にならない場合があります。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバルの構成比率です。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

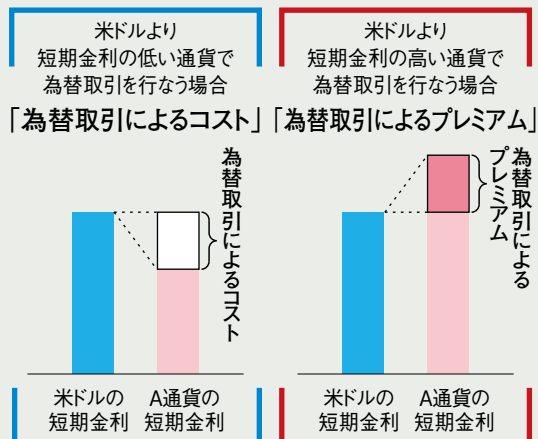
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

各通貨と米ドルの短期金利差が及ぼす影響

- 当ファンドの実質的な投資対象である米ドル建て資産に対し、米ドルと各コースの通貨で為替取引を行なう際に、米ドルより各コースの通貨の短期金利が高い場合、「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）」が期待されます。
- 一方、米ドルより各コースの通貨の短期金利が低い場合、「為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）」が発生します。

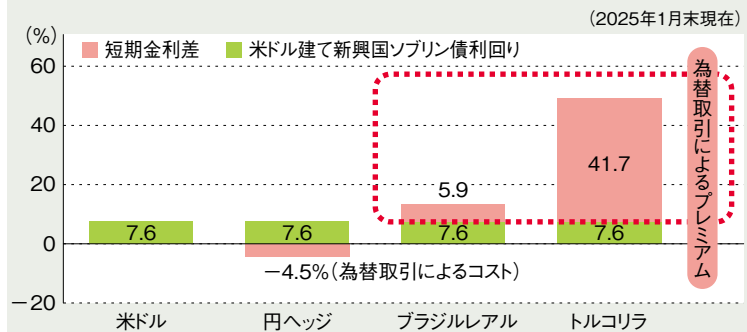
※為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、米ドルより各コースの通貨の短期金利が高い場合でも、それを十分に享受できない可能性があります。

（米ドル資産に対する）為替取引によるコスト／プレミアムのイメージ



※上記は、イメージ図であり、実際の金利水準や将来の運用成果等を示すものではありません。

＜ご参考＞ 米ドル建て新興国ソブリン債利回りと為替取引によるコスト／プレミアム



※為替取引によるプレミアム（コスト）の水準は、各国通貨の短期金利の変化によって影響を受けます。なお、上記グラフの短期金利差は、各国通貨のフォワードレートとスポットレートから算出した数値を用いています。

※米ドル建て新興国ソブリン債利回り:JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースィファイドの最終利回り

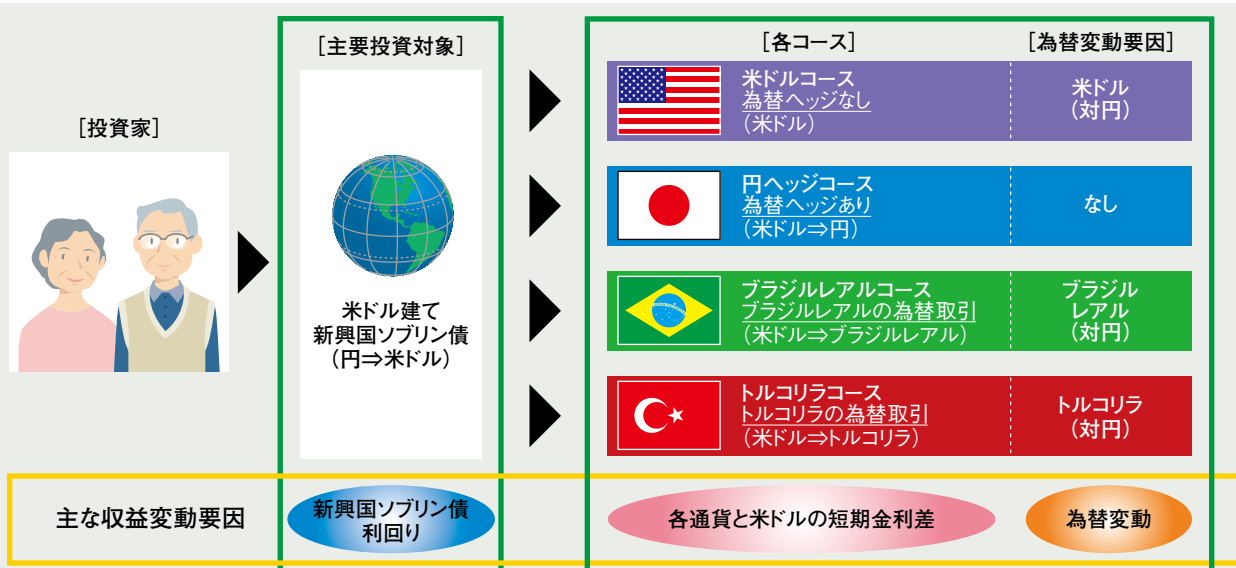
※上記は当ファンドの金利水準や運用成果等を示すものではありません。

※上記は切り捨てにて端数処理しています。

（用語説明）ここでいう為替取引とは、「原資産通貨を売り、別の通貨を買う取引」をいいます。また、為替取引のうち、「原資産通貨を売り、円を買う取引」を為替ヘッジといいます。

各通貨コースについて

- 米ドルコースは、新興国ソブリン債の高い利回りを直接享受することを目的とするため、原則として為替ヘッジは行ないません。
- 円ヘッジコースは、原則として為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。
- 「ブラジルレアルコース」「トルコリラコース」では、米ドル売り^{注1}／各新興国通貨買いの為替取引を行ないます。これにより、各コースは米ドル／円の変動に代えて、各新興国通貨／円の変動の影響を受けることになります。各新興国通貨の短期金利が米ドルの短期金利を上回る場合、その差から収益を得られることがあります。また、相対的な経済成長力の高さを背景に各コースの通貨が対円で上昇する場合、為替差益を見込むことができます^{注2}。



注1:当ファンドの実質的な投資対象（原資産）が米ドル建て資産のため。

注2:経済成長力が弱まるような場合などでは、各通貨が対円で下落し、為替差損が発生すること考えられます。

※上記はイメージ図であり、実際と異なる場合があります。

※為替ヘッジは、為替変動の影響を完全に排除できるわけではありません。

※為替取引を完全に行なうことができるとは限りませんので、各コースの通貨と完全に連動するわけではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

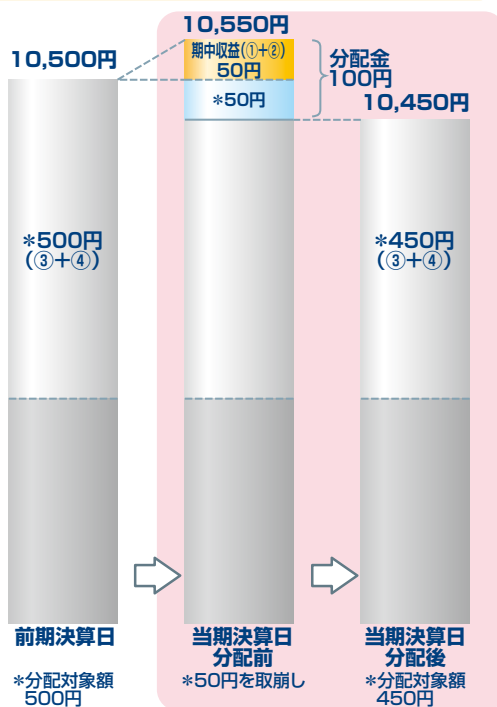
投資信託で分配金が支払われるイメージ



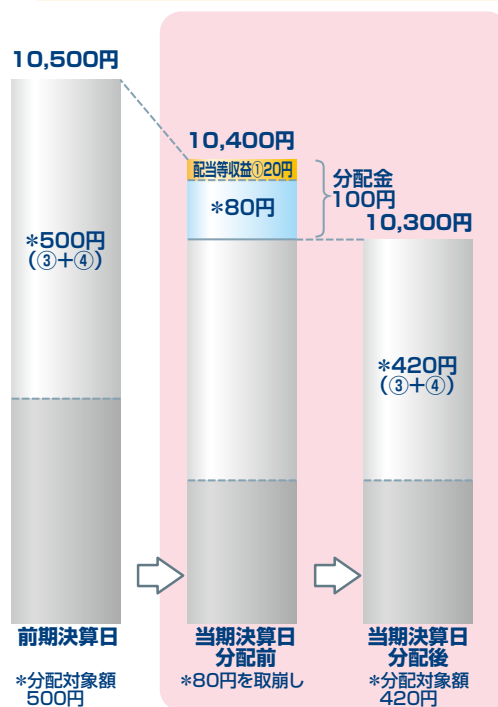
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

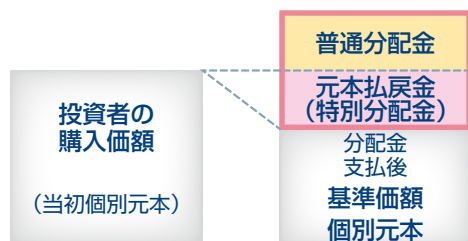


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

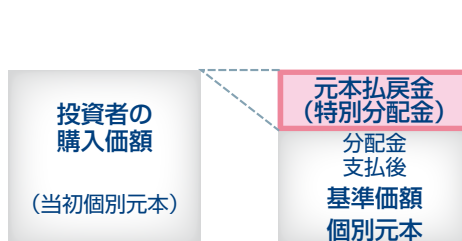
※ 上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいさかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



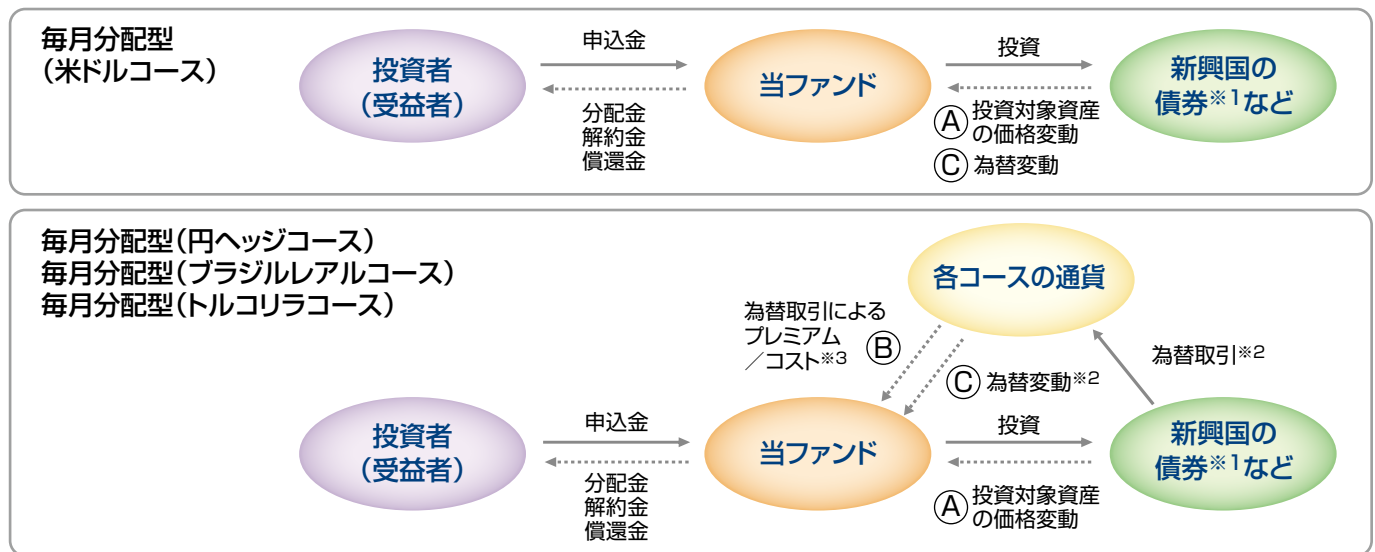
※ 元本払戻金(特別分配金)は実質的には元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- ・ 普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- ・ 元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※¹ 当ファンドは、外国投資信託を通じて米ドル建ての新興国の債券に投資を行ないます。

※² 円ヘッジコースは、原則として米ドル売り/円買いの為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※³ 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		= ① 債券の値上がり／値下がり + ② 為替ヘッジプレミアム／コスト + ③ 為替差益／差損			
毎月分配型 (米ドル コース)	収益を得られる ケース	債券価格の上昇	為替ヘッジを 行なわないので ありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安	
	損失やコストが 発生するケース	債券価格の下落		為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高	
収益の源泉		= ① 債券の値上がり／値下がり + ② 為替ヘッジプレミアム／コスト + ③ 為替差益／差損			
毎月分配型 (円ヘッジ コース)	収益を得られる ケース	債券価格の上昇	ヘッジプレミアムの発生 円の金利－原資産通貨の金利 が プラス	原則として 為替ヘッジを行ない、 為替変動リスクの 低減を図ります。	
	損失やコストが 発生するケース	債券価格の下落	ヘッジコストの発生 円の金利－原資産通貨の金利 が マイナス		
収益の源泉		= ① 債券の値上がり／値下がり + ② 為替取引によるプレミアム／コスト + ③ 為替差益／差損			
毎月分配型(ブラジル リアルコース) ・ 毎月分配型 (トルコリラコース)	収益を得られる ケース	債券価格の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 原資産通貨の金利 が プラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安	
	損失やコストが 発生するケース	債券価格の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 原資産通貨の金利 が マイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高	

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

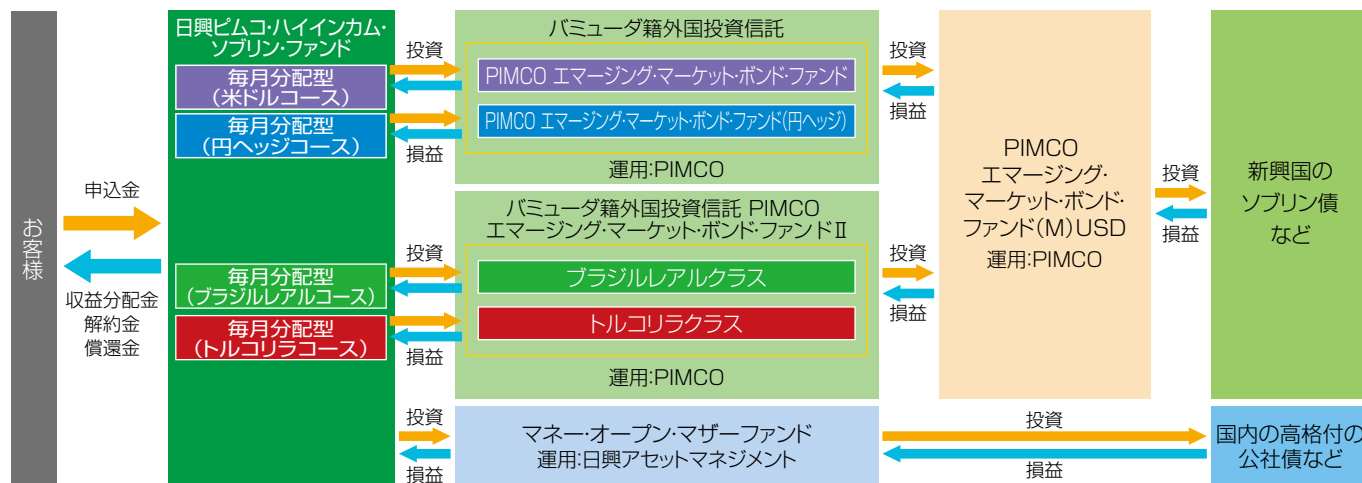
※為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

ファンドの仕組み

当ファンドは、PIMCOが運用するバミューダ籍外国投資信託と、日興アセットマネジメントが運用する証券投資信託「マネー・オープン・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。



お申込みメモ

- **商品分類:** 追加型投信／海外／債券
- **購入単位:** 販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
- **購入価額:** 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- **信託期間:** 【毎月分配型(米ドルコース)】無期限(2003年9月30日設定)
【毎月分配型(円ヘッジコース)】2029年1月15日まで(2006年3月7日設定)
【毎月分配型(ブラジルリアルコース)】／【トルコリラコース】2029年1月15日まで(2009年7月10日設定)
- **決算日:** 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
- **収益分配:** 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。
※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご注意ください。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- **換金価額:** 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- **購入・換金申込不可日:** <購入申込不可日> 販売会社の営業日であっても、購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、購入の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
<換金申込不可日> 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
・ニューヨーク証券取引所の休業日
・換金申込日から換金代金の支払開始日までの間(換金申込日および換金代金の支払開始日を除きます。)の全ての日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合
- **換金代金:** 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- **課税関係:** 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。
※各ファンドは、NISAの対象ではありません。
※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

- **購入時手数料:** 三井住友信託銀行における購入時手数料率は、お申込金額に応じて、以下のように変わります。
1,000万円未満…3.3%(税抜3.0%)、1,000万円以上1億円未満…2.75%(税抜2.5%)、1億円以上…2.2%(税抜2.0%)
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- **ご参考(金額指定で購入する場合)**
購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。
- **(口数指定で購入する場合)**
例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。
購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.3%(税込)=33,000円 となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくことになります。
- **換金手数料:** ありません。
- **信託財産留保額:** ありません。
- **スイッチング手数料:** ありません。
※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- **運用管理費用(信託報酬):** 純資産総額に対し年率1.76%(税抜1.60%)が実質的な信託報酬となります。
- **その他の費用・手数料:** 【毎月分配型(米ドルコース)】／【円ヘッジコース】
監査費用、組入保有証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
【毎月分配型(ブラジルリアルコース)】／【トルコリラコース】
目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入保有証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社: 日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社: ビムコジャパンリミテッド
受託会社: 野村信託銀行株式会社

販売会社: 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
【ホームページ】www.nikkoam.com/
【コールセンター】0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)